

～アルジェリアにおけるコレラの発生について（注意喚起）～

平成30年8月23日
在アルジェリア日本国大使館

【ポイント】

●8月23日、保健・人口・医療改革省は、アルジェリア国内においてコレラ感染の疑いが持たれている88人中41人につきコレラの発症を正式に発表しました。

1 8月23日、保健・人口・医療改革省は記者会見において、コレラ感染の疑いが持たれている88人中41人につきコレラの発症を正式に発表しました。発症した患者は、アルジェ県、ブリダ県、ティパザ県及びブイラ県にまたがり、最も患者数の多いブリダ県においては22人が発症し、死者が1名確認されています。アルジェ県においては、疑いが持たれている14人中5人につきコレラの発症が正式に認められています。

2 発症の原因については、アルジェ・パスツール研究所が調査を進めている段階にあるものの、保健・人口・医療改革省は水による感染の可能性を除外しており、野菜及び果物による感染の可能性が追求されています。

3 コレラはコレラ菌（Vibrio Cholerae）に汚染された水、氷、食品などを経口摂取することによって起こる、下痢を主症状とする病気です。潜伏期間は数時間から5日で、その後、下痢や嘔吐などの症状がみられます。腹痛や発熱はほとんどみられません。下痢の症状は様々ですが、重い場合は多量の水のような下痢となり、脱水症状を起こします。胃腸の弱い人や胃切除を受けた人、高齢者、乳幼児などは重症化し、昏睡状態に陥り死亡する例もあります。以下のような基本的な感染症予防対策を心掛け、感染が疑われる場合には、直ちに医師の診断を受けてください。

- 食事の前、トイレの後の手洗いを励行する。
- 食物は、十分加熱してから食べる。路上で販売されている飲食物は口にしない。
- 飲料水や調理用の水はミネラルウォーターを使用する。水道水を利用する場合は、十分に沸騰させた後使用する。
- 安全な水から作ったことが確認できる氷以外は使用しない（コレラ菌は冷凍

しても死滅しません)。

(問い合わせ先)

在アルジェリア日本国大使館

住所 : 1, Chemin El Bakri, Ben Aknoun, 16028 Alger

電話 : +213 (0)21 91 20 04 FAX : +213 (0)21 91 20 46

メール : eal-mm@al.mofa.go.jp

※「たびレジ」簡易登録をされた方でメールの配信を停止したい方は、以下の URL から停止手続きをお願いします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>